

With

No. 12

発行日
2021.7月

帯広協会病院 地域医療連携ニュース



循環器内科 Stent-less PCI

社会福祉法人 北海道社会事業協会帯広病院

〒080-0805 帯広市 東5条南9丁目2番地
TEL:0155-22-6600 FAX:0155-24-7076

ホームページ
QR card





Stent-less PCI

ステントを留置しない選択

Drug Coated Balloon DCB

1977年にAndreas Guenzig先生が38歳の狭心症患者に経皮的パールン血管形成術(POBA)を世界で初めて行い、20年後も再狭窄が無かったことが報告されています。この症例から始まった冠動脈血管拡張術は経皮的冠動脈形成術(PCI)に繋がり、現在ではDrug Eluting Stent(DES)を用いた治療がPCIの基本となっています。

しかしDESの使用には2種類の抗血小板薬の長期内服が基本的には必要であり、高齢化等で出血性合併症や腎機能低下が懸念される際にはDES留置がためられる場合があります。また、分岐部病変や小血管に対してはステント留置が適さないことがあります。

そのような状況ではステントを留置しない治療(Stent-less PCI)を行う選択肢があり、従来のPOBAに加えてDrug Coated Balloon(DCB)を用いることで、良好な成績が得られることが示されつつあります。

このDCBを用いた治療の際には、1) 前拡張で重篤な血管解離を作らない 2) DCBを速やかに病変部に持ち込む、といった2点が大切になります。前拡張で重篤な血管解離を作ってしまうと、急性冠閉塞の危険性からステント留置が必要となり、DCBによる手技では終われなくなります。

一方で小さめのPOBAによる前拡張では、柔軟性の乏しいDCBを病変まで速やかに持ち込むことができず、その間にバルーンに塗布された薬剤(パクリタキセル)が減少してしまい、再狭窄抑制効果が低下する可能性があります。

当院ではDrug Coated Balloon(DCB)を用いたStent-less PCIを 1)小血管病変 2)分岐部病変 3)長期間のDAPT継続が難しい症例に行っております。

治療戦略

前拡張(Lesion preparation)

Coronary Dilataion Catheterを用いて前拡張(病変に大きな解離を生じないようにquarter~half size down)

Lesion preparation後の評価

血管造影とIVUSで血流や解離の悪化がないことを確認 5分間待機し、血流や解離の悪化の進展がないことを再確認

Drug Coated Balloon(DCB)拡張

前拡張のバルーンとほぼ同径で、かつ前拡張した部位を十分にカバーできる長さで60秒間拡張 DCBで拡張後は10分間待機し、造影で血流の悪化や解離の増悪がないことが確認できれば手技終了

小血管病変に対するPCIは灌流域の狭さや、再狭窄率の高さなどの理由から積極的に行うことは少ないと思われませんが、心不全の原因となるような小血管病変もあり、Stent-less PCIで完全血行再建を目指すことが予後の改善につながると思われ、当科では積極的に行っています。

Case うっ血性心不全
70代女性
低左心機能 LVEF 36%

冠動脈造影により、左冠動脈前下降枝(LAD):#7 90%、回旋枝(LCx):#13 99%、
 #14 99%の狭窄を認めた。LADにDESを留置。①
 LCxは分岐部および小血管病変であり、Stent-less PCIによる治療を選択。

#13および#14の病変に前拡張を行い、DCBを施行

#13:99%→50% #14:99%→25% ②

PCI後の左室壁運動は改善→LVEF 59%

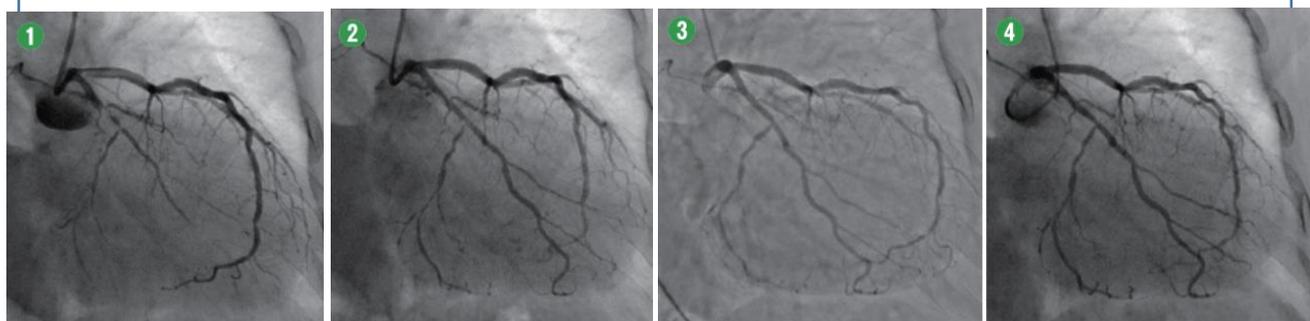
虚血性心筋症の診断

3か月後 ③

CAGでは再狭窄を認めず

17か月後 ④

CAGでも再狭窄は認めず、#13分岐部にはLate Lumen Enlargementが確認された。



治療前

治療後

3か月後

17か月後

外来医師担当表

		月	火	水	木	金	土
午前	新患	及川・西川	吉田	南部	西川	及川	交代制
	再診 (完全予約)	吉田	及川	西川	及川	吉田	—
		—	南部	石本	南部	西川	—
		—	—	—	—	北海道医療センター 佐藤 (不整脈外来月1回)	—
午後	救急患者さん は随時受付	第2週:及川 第3週:西川 (ペースメーカー)	検査 治療	検査 治療	検査 治療	吉田(新患)	休診

○ 第2・第4土曜日休診

○ ペースメーカー外来 ⇒ 第2・3月曜日午後(月2回)

不整脈専門外来について

不整脈の専門外来診療と治療(アブレーション)を、北海道医療センター 佐藤 実 医師を招聘して行っています。

毎月金曜日(月1回 不定期)

※専門治療の日は紹介状が必要となります。

(尚、当日ご紹介状がなく来院した場合は、待ち時間があるか、状況によっては次回の診察日になりますので、ご了承ください)

上記以外の日も循環器内科で不整脈診療を週日午前中に行っておりますので、まずはお相談ください。

お知らせ

第12回帯広協会病院病診連携WEB講演会

2021年7月27日(火)19:00～19:30

「進歩したASO(閉塞性動脈硬化症)の治療 Stent-less PPI」

～Drug Coated Balloon DCBによるステントを使わない血行再建～

帯広協会病院 循環器内科 副院長 講師: 吉田 一郎

<https://zoom.us/j/98752458242?pwd=bHVBL0hoa3QzY2RlS25aYmZodXF0Zz09>

ミーティングID: 987 5245 8242 パスコード: d8j6R6zG



Backnumber

見逃し配信実施中！

見逃した講演を放送終了後にYouTubeにて視聴いただけます。
ご希望の場合は、メールにてお申込みください。
URLを送付させていただきます。

- | | |
|---|-------------------------|
| 第1回 「最近増えている心筋梗塞」
～診断・治療・予防について～ | 循環器内科 副院長 吉田 一郎 |
| 第2回 「眼科Emergency」
～見逃せない4つの病態～ | 眼科 主任部長 田邊 章浩 |
| 第3回 「総合診療科について」
～帯広・十勝地域のためにできること～ | 総合診療科 部長 堀 哲也 |
| 第4回 「腫瘍内科って、知ってますか？」
～その人らしい生き方を支えるがん治療～ | 腫瘍内科 部長 杉山 絢子 |
| 第5回 「男性下部尿路症状の診断と治療」 | 泌尿器科 主任医長 岡田 学 |
| 第6回 「小児の機能性疾患」
～偏頭痛、周期性嘔吐症、起立性調節障害など～ | 小児科 副院長 青柳 勇人 |
| 第7回 「日常診療でよくみる耳鼻咽喉科疾患の診断と治療」 | 耳鼻咽喉科 主任医長 野村 一顕 |
| 第8回 一般科で使う「精神科の薬」について | 精神科・心療内科 部長 山本 浩貴 |
| 第9回 「当院における鼠経ヘルニア手術の現状」 | 外科 主任医長 小柳 要 |
| 第10回 「婦人科に関連する症状の診断・ポイント」 | 産婦人科 主任医長 鈴木 将裕 |
| 第11回 「COVID-19肺炎の画像診断」 | 札幌医科大学 放射線診断学 助教 小野寺 耕一 |

社会福祉法人
北海道社会事業協会 帯広病院 (通称)帯広協会病院
〒080-0805 北海道帯広市東5条南9丁目2番地

<地域医療連携ニュース With編集>
画像診断科 工藤純一
地域医療福祉連携室 竹林佳美